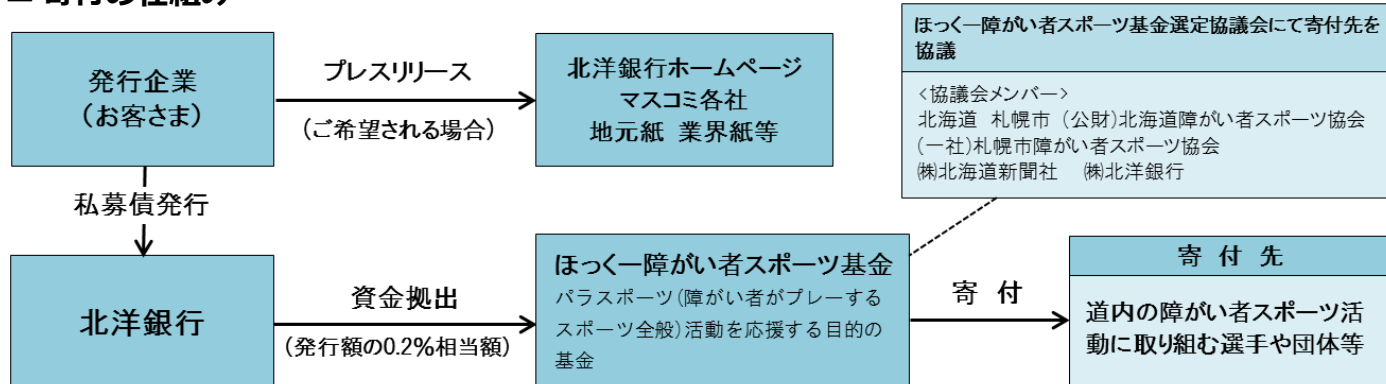


パラスポーツ応援債のご案内

発行企業（お客さま）が私募債を発行することにより、北洋銀行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」を通じて、道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手や団体等に寄付金を贈る制度です。

■ 寄付の仕組み



「ほっくー障がい者スポーツ基金」を通じ、道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手や団体等への寄付（発行額の0.2%相当額）を行います。尚、発行企業様（お客さま）の寄付金控除等の対象とはなりません。

寄付額の例

私募債発行額	寄付額
3千万円	60,000円
5千万円	100,000円
1億円	200,000円

■ 発行企業のメリット

- 障がい者の社会参加促進・パラアスリートの育成を応援することができます。
- 社会貢献に対する取り組み姿勢を広くアピールでき、企業イメージの向上(優良企業の証)に繋がります。
- 固定金利による長期安定資金を調達できます（固定金利の場合）

■ 私募債発行条件

私募債種類	銀行保証付私募債 (※期限前償還条項付私募債含む)	特定社債保証制度 (信用保証協会付)
発行額	3千万円～	3千万円～5億6千万円
償還期間	2年～10年	2年～7年
償還方法	満期一括償還または定時償還	
金利	固定金利または変動金利	
資金用途	原則、事業資金・設備資金とします。	

※期限前償還条項付私募債
一般的な私募債に認められていない期限前償還が可能ですので、弾力的な財務運営が可能となります。「半年毎の利払日」かつ「残元金の一括償還」に限り期限前償還が可能です(事前にお申し出が必要となります)。

■ 留意点

- 社債発行にあたり、事前に審査がございます。貴社取締役会での発行決議が必要になります。
- 社債に関する具体的な会計上の取扱いについては、会計士、税理士等の専門家とお打合せの上ご対応頂きますようお願い致します。特に、財務会計上の処理と税務会計上の処理が異なる場合もありますのでご注意ください。

本商品に関するお問い合わせは弊行取引店または下記弊行担当部宛お願いします。

株式会社北洋銀行 ソリューション部 TEL 011-261-2434 FAX 011-231-4073
株式会社北洋銀行 経営企画部 CSR推進室 TEL 011-261-1151 FAX 011-261-2280

本書面は、貴社が本お取引をご検討される上での参考情報のご提供を目的とするものです。弊行は、貴社に対し、本書面における法律・税務・会計上の取扱いを助言、推奨または保証するものではありません。本お取引に関する一切は貴社のご判断においてご決定いただきます。なお、本書面の内容には変更が加えられることがあります。

2017年度寄付先について ～2017年8月29日に贈呈式を実施しました～

2016年度のパラスポーツ応援債発行合計は18億7千万円となり、寄付額は374万円となります。
寄付先の選定に際し、公平性・透明性の確保のため「ほっく一障がい者スポーツ基金選定協議会」を設立し、そこでの協議をもとに、寄付先を下記の7先に決定いたしました。
2017年8月29日（火）に北洋大通センター4階セミナーホールにて贈呈式を実施しました。



寄付先選手・団体・基金のご紹介

新田 のんの 選手

車椅子レース、クロスカントリースキー、バイアスロンと幅広く活躍する選手です。2017年3月に地元札幌で開かれたIPCのW杯大会では、距離とバイアスロンの計4戦で4位が3度と活躍し、大きな成長を見せています。



2017IPCノルディックスキーワールドカップ札幌大会組織委員会

※主な出場大会・結果

- クロスカントリースキー(2017W杯札幌4位)
 - バイアスロンスキー(2017W杯札幌4位)
 - 車椅子マラソン(2016はまなす車いすマラソン1位)
- 寄付金は、競技用具費・W杯出場遠征費等として利用予定です。

星澤 克 選手

クロスカントリースキーとバイアスロンを行う高校生選手です。中学3年生のとき史上最年少の日本代表として2015年W杯旭川大会に出場、昨シーズンはW杯ウクライナ大会で自己最高位の8位に入りました。



2017IPCノルディックスキーワールドカップ札幌大会組織委員会

※主な出場大会・結果

- クロスカントリースキー
(2017W杯ウクライナ大会8位、札幌大会11位)
 - バイアスロンスキー(2017W杯ウクライナ大会9位、札幌大会9位)
- 寄付金は、競技用具費・W杯出場遠征費等として利用予定です。

特定非営利活動法人 あ・りーさだ

札幌市と夕張市を拠点に、障がい者向け
「放課後スポーツ教室」
「障がい者スポーツ体験事業」
「障がい者スポーツ啓発事業」
「あ・りーさだの杜活用事業」
を行っている団体です。



修学旅行生 320 人による障がい者スポーツ体験

寄付金は、施設の維持管理費用・備品・スポーツ用品購入費用として利用予定です。

一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ指導者協議会

障がい者スポーツの指導・活動支援を行っている団体で、2017年9月より障がい者スポーツ専用の学校開放が行われる「みなみの杜高等支援学校」の管理運営を行っています。



2017 W杯札幌大会射撃カウント記録係

寄付金は、この学校開放を活用して市民を対象に障がい者スポーツ体験会を実施する運営費として利用予定です。

※「みなみの杜高等支援学校」は2017年4月に旧真駒内小学校跡地に開校した高等支援学校(知的障がい特別支援学校高等部)

北海道

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」

北海道に貢献する意欲のある若者の海外での挑戦を官民挙げて応援するため、2017年12月に創設した新しい基金です。支援コースとして「スポーツコース」「学生留学コース」「文化芸術コース」「未来の匠コース」の4コースが用意されています。寄付金は「スポーツコース」に寄付し、世界に通用するアスリートを育成・輩出する指導者をめざす若者の海外研修を支援します。

公益財団法人

北海道障がい者スポーツ協会

北海道の障がい者スポーツの発展に向けて活動している団体で、1985年に北海道、札幌市等が主体となり設立されました。2015年から当行と道との包括連携協定に基づく協働事業である「北洋銀行スポーツ応援事業」の事業実施主体として同事業を運営中です。寄付金は、障がい者の各種スポーツ大会やスポーツ教室の運営費として利用予定です。

一般社団法人

札幌市障がい者スポーツ協会

札幌市内の障がい者に対するスポーツの普及と振興を図り、障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする団体です。1995年に創立され2012年に現組織となりました。寄付金は当協会が行っている貸出用のバイスキー・チェアスキーを更新する費用として利用予定です。